

小・中学校栄養 専門問題例

例1 次の文は、「学校給食法」の一部である。(1)～(5)にあてはまる語句を、下のア～コから選び、記号で書きなさい。

第十条 栄養教諭は、児童又は生徒が(1)食生活を自ら営むことができる知識及び(2)を養うため、学校給食において摂取する食品と健康の(3)との関連性についての指導、食に関して特別の配慮を必要とする児童又は生徒に対する(4)指導その他の(5)を活用した食に関する実践的な指導を行うものとする。

ア 体験的	イ 態度	ウ 学校給食	エ 管理	オ 個別的な
カ 技能	キ 健全な	ク 望ましい	ケ 献立	コ 保持増進

(R元年度)

例2 次の文は、中学校学習指導要領（平成29年3月告示）「第5章 特別活動」「第2 各活動・学校行事の目標及び内容」〔学級活動〕「2 内容」の一部である。(a)～(e)にあてはまる語句を書きなさい。(同じ記号には、同じ語句が入るものとする。)

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
オ 食育の観点を踏まえた(a)と望ましい(b)の形成
(c)の時間を中心としながら、成長や(d)を意識するなど、望ましい(b)の形成を図るとともに、食事を通して(e)をよりよくすること。

(R元年度)

例3 次の文章は、「消費者教育の推進に関する法律」及び「消費者教育の推進に関する基本的な方針」（平成25年6月28日閣議決定 平成30年3月20日変更）の一部である。(1)～(8)にあてはまる語句を書きなさい。

「消費者教育の推進に関する法律」

第3条 7 消費者教育に関する施策を講ずるに当たっては、(1)、食育、(2)その他の消費生活に関連する教育に関する施策との有機的な連携が図られるよう、必要な配慮がなされなければならない。

「消費者教育の推進に関する基本的な方針」

食育は、食育基本法（平成17年法律第63号）に基づいて、推進されている。食育を、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている。食育の取組の中で、(3)の習得、「(4)」という意識のかん養、(5)の削減や地産地消の推進といった取組は、(6)な社会の形成を目指す消費者教育の課題でもある。また、栄養バランス等の観点から適切な(7)を送ること、食品の安全性に関する知識と理解を深めること等は、栄養表示を含めた(8)を正しく理解することを始め、食における危険を回避する能力を育む消費者教育と密接な関係がある。このように食育の内容は、消費者教育の重要な要素であり、積極的な推進に努める。

(R2年度)

例4 「学校給食における食物アレルギー対応指針」(平成27年3月 文部科学省)では、学校給食における食物アレルギー対応の大原則として、原因食物の完全除去対応を挙げている。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 完全除去対応について、牛乳アレルギーを例として説明しなさい。
- (2) 完全除去対応が、リスクを減らし、安全性確保につながる理由を書きなさい。

(R2年度)

例5 「食に関する指導の手引—第二次改訂版—」(平成31年3月 文部科学省)に示された「学校給食におけるリスクマネジメント」について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 食中毒及び感染症を未然に防止するため、「学校給食衛生管理基準」(平成21年3月31日告示文部科学省)に基づき、給食当番の健康状況を記録することになっている。次の給食当番チェックリストの(a)～(d)にあてはまる語句を書きなさい。

給食当番チェックリスト

- (a)をしている者はいない。
- (b)、腹痛、嘔吐をしている者はいない。
- (c)的な服装をしている。
- 手指は確実に(d)した。

- (2) 次の文章は、学校給食における食中毒発生時対応の留意点である。(ア)～(エ)にあてはまる語句を書きなさい。

胃腸炎による(ア)や体調不良者が多数見られた場合、食中毒を疑う。疑いが発生した時点で、対応マニュアルに沿って、(イ)や管轄する保健所、(ウ)等と連携し、迅速な対応を行う。

家庭への情報提供を行い、家庭内での(エ)防止に努める。

- (3) 教室内における異物混入を未然に防止するために、児童生徒に指導すべきポイントを2つ書きなさい。

(R3年度)

例6 「学校給食調理場における手洗いマニュアル(平成20年3月 文部科学省)」に示された内容について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、給食調理における手洗いの目的である。(a)～(c)にあてはまる語句を書きなさい。

- 学校給食調理施設では、(a)手洗いが必要。
- 常在細菌を取り除く(b)の手洗いは不必要。
- 手洗いの基本は、(c)に洗い流すことである。

- (2) 学校給食における手洗いには、「標準的な手洗い」と「作業中の手洗い」がある。次の①～⑤のうち、「標準的な手洗い」が適切な場面の組合せについて、正しいものを下のア～オから選び、記号で書きなさい。

- ① 作業開始前
- ② 食品に直接触れる作業に当たる直前
- ③ 用便後
- ④ 汚染作業区域から非汚染作業区域に移動する場合
- ⑤ 非汚染作業の中で、生の食肉類、魚介類、卵、調理前の野菜類等に触れた後

ア ②③⑤

イ ①③⑤

ウ ②③④

エ ①③④

オ ①④⑤

(R3年度)

小・中学校栄養 正答例

問題番号		正 答 例
例 1	(1)	キ
	(2)	イ
	(3)	コ
	(4)	オ
	(5)	ウ
例 2	(a)	学校給食
	(b)	食習慣
	(c)	給食
	(d)	健康管理
	(e)	人間関係
例 3	(1)	環境教育
	(2)	国際理解教育
	(3)	マナー
	(4)	もったいない
	(5)	食品ロス
	(6)	持続可能
	(7)	食生活
	(8)	食品表示

問題番号		正 答 例	
例 4	(1)	飲用牛乳だけでなく，乳製品や牛乳を利用した食品や料理を量にかかわらず提供しないこと。	
	(2)	作業を単純化することができ，誤配膳や誤食が起こりにくくなるから。	
例 5	(1)	(a)	下痢
		(b)	発熱
		(c)	衛生
		(d)	洗浄
	(2)	(ア)	欠席者
		(イ)	学校医
		(ウ)	教育委員会
		(エ)	二次感染
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・配膳前や配膳中は静かに着席して待つこと。 ・配膳前に机の上を片付けること。 ・帽子，マスク，エプロンを正しく身につけること。 	
	例 6	(1)	(a)
(b)			過度
(c)			物理的
(2)		エ	